

業種	情報サービス業
活用分野	建設業界などを対象とした現場画像管理サービス (ASP)
テクノロジー	PHS通信機能付きデジタルカメラ (独自開発)、インターネット

# 通信機能付きデジカメをセットにし 現場画像の管理サービスを開発

現場業務におけるカメラ=画像データの活用シーンは多岐にわたる。例えば建設現場なら、不正・不良工事の防止や作業の進捗を確認するための施工管理、災害を防ぐための労務管理や安全管理、作業中や工事完了後のトラブル対応等々で、現場の写真が“工事記録”として役に立つ。

しかし、日々の現場作業で撮影された大量の画像データの整理・保存には手間がかかる。また、撮影データを効率的に収集する手立てとして携帯電話のカメラ機能を使ったモバイルシステムが考えられるが、ある程度の投資を見込まなければならぬ。写真を撮影し画像データを送信するという一連の端末操作方法を、現場の作業者が習得しなければならない。

こうした実際の現場での要望を、製品・サービスとして実現した仕組みがある。三洋電機の社内ベンチャー第1号として設立されたギアヌーブが提供するASPサービス「GENBA.net」だ。

## 現場作業の実態を徹底分析し 誰でも使えるデジカメを独自開発

2006年12月からサービスが開始されている「GENBA.net」は、現場で撮影した画像データをモバイル通信でセンター側のサーバに一括保存し、インターネット環境からサーバにアクセスして画像の確認・整理を行えるというのが基本的な仕組みだが、最大の特徴は、現場用端末としてウィルコム通信モジュールを内蔵した独自開発の専用デジタルカメラをセットで提供している点にある。

無駄を極力省いたシンプルで堅牢な構造のカメラは、しっかり握れるゴム巻きのグリップや軍手のままでも操作できる大きめのボタンを採用。操作も極めて簡便で、シャッターを切った後に背面の送信ボタンを押すだけで画像データをサーバにアップできる。代表取締役社長の八木宏憲氏は、「工事現場のマーケティングを徹底的に行い、『操作できない』という言い訳ができないほど実用性を追求しまし



「撮影もデータ送信もボタン1つで操作可能な“現場で本当に使える端末”を開発できた」

代表取締役社長の八木宏憲氏

た」という。

撮影した画像はカメラ本体の内蔵メモリに格納され、サーバにアップロードすると自動で消去される。また、カメラを紛失しても画像の抜き出しはサーバへの送信以外に方法がない。こうした仕組みによって情報セキュリティも確保されている。

他方、サーバに保存された画像の編集も簡単に行えるよう、コメント付加機能やPDFファイル化機能なども提供している。

## 業務の品質向上・効率化に寄与 建設以外の業種にも利用が拡大

「GENBA.net」はこれまでに、大手のゼネコンや住宅メーカーをはじめとして約150社・カメラ約2300台の利用実績をあげている。八木氏は、「導入企業では、現場写真の撮影・保管という行為によって作業の品質管理や安全管理が強化できていますし、撮影画像を施主などお客様へのサービスに役立てている例もあります。さらに、管理者の現場訪問回数削減による移動時間・コストの抑制、画像の整理・編集業務の効率化も実現されています」と、その利用価値を強調する。

また、導入の手軽さや現場端末の使いやすさが評価され、電設業者、地方公共団体、消防署、さらに全国チェーン店の改装工事を受注する大手商社など、幅広い業種での採用も進んでいるという。



「GENBA.net」で提供される通信機能付きデジカメは特許を取得 (右は裏面)

図 「GENBA.net」のサービス概要

